



— 本日は羽曳野市出身でプロ野球オリックス・バファローズ所属の太田椋選手に来ていただきました。チャンピンを一か月後に控えた、お忙しい中ありがとうございます。

太田椋選手 (以下、太田) : こちらこそお声掛けいただきありがとうございます。よろしくお願いします。

羽曳野時代—

— 早速ですが羽曳野市で過ごされていた小学校、中学校時代はどんな子どもでしたか？

太田 : 活発に、常に動き回っているといいますが、遊びまわっている子どもでした。

— 野球を始めたのはいつからでしょうか？

太田 : 小学校三年生のときです。羽曳野レンジャーズというチームで野球を始めました。今日は、当時のユニフォームを持参しました。

— 太田選手の原点ですね。

太田 : その後、中学生になってから山入端市長も所属されていた羽曳野ボーイズに入団しました。この羽曳野ボーイズに所属している時にジャイアンツ

カップで優勝しました。その時にいただいたメダルも持ってきました。

— ファンの人からすれば宝の山ですね。その時のポジションは？

太田 : 小学生の時はピッチャーとショート、中学生の時は最初ピッチャーをしていましたが、途中からショートを守っていました。

— 当時から肩の強さは健在だったわけですね。根っからの野球少年だったかと思いますが、野球以外に頑張られていたことはありますか？

太田 : 勉強もしっかりと頑張っていました。(笑)
— すばらしい。文武両道ですね。

父、太田暁さんの存在—

— 実は、太田選手のお父さんは私の高校の先輩でもありまして、プロ野球選手をされていましたが、当時お父さんの存在というのは太田選手にどのような影響を与えましたか？

太田 : お父さんからの影響は大きく受けていたと思います。野球と触れ合う機会がとて多くて、京セラドーム大阪へ試合観戦によく行きましたね。今でもバッティングピッチャーとして支えてもらっています。

— 羽曳野市内で思い出の場所などありますか？
太田 : そうですね、たくさんありますが、中でもやっぱり野球の練習にいそしんだ“グラウンド”が一番思い出深いですね。当時は一番行きたくない場所でしたが。(笑)

— 相当過酷な練習を乗り越えてこられたのですね。

太田 : この時の経験が今も生きているのは事実ですね。

食のまち羽曳野—

— 羽曳野市の特産品として様々なものがありますが、太田選手が好きなものはありますか？

太田 : 美味しいものがたくさんあると思いますが、お肉ですね。特に、さいばしは私も大好きです。昨年末にもいただきましたが絶品でした。

— お肉が好きということでしたら、羽曳野に帰って来てから焼肉は行かれましたか？



少年時代のユニフォーム、メダル

©ORIX Buffaloes

太田 椋 (おおたりょう) 羽曳野市出身 2001年生まれ 24歳
プロ野球選手 (オリックス・バファローズ所属)
羽曳野市立高鷲南中学校 - 天理高等学校 - オリックス・バファローズ
中学時代 硬式野球チーム“羽曳野ボーイズ”に所属 (羽曳野市スポーツ・観光大使ダルビッシュ有投手も所属)
2018年ドラフト1位 右投右打 内野手



太田：まだ行ってないですね。(笑)

——どこのお店に入ってもはずれがないくらい美味しいですからね。ぜひとも羽曳野でお肉を食べてもらいたいです。

そんなお肉に加え、ブドウやイチジクといった羽曳野市の特産品を使って企業や専門学校の生徒さんたちが様々な商品開発を行って来ています。太田選手にもぜひ食べていただきたいです。

太田：見かけるたびに手に取ってみたいと思います。

プロの世界へー

——天理高校からドラフト1位指名を受けて当時の心境は？

太田：大変光栄なことでみなさんの期待に応えられるように頑張ろうと思いました。

——昨シーズンはキャリアハイの成績を残されました。これでさらに自信を持たれたのでは？

太田：そうですね。徐々にでしたが、試合も毎日のように起用いただいて。なんとか監督の起用に応えようと必死にやっていました。

——こうした成績を残された秘訣などありますか？

太田：昨年の今頃めちゃくちゃトレーニングをしてからかなり身体を大きくしました。それも手伝って打球もよく飛ぶようになりました。

——内野をどこでも守れるオールラウンドプレーヤーとして試合に出られたかと思いますが、今シーズン打ちたい打順、守りたいポジションは？

太田：やっぱり昨年もメインで出してもらっていた“3番”“セカンド”ですね。

——少しマニアックですが、昨シーズン、相手選手が盗塁をしかけ、ベースカバーに入られた際、キャッチャーからのボールがそれてしまいましたが、フェイクタッチを行うことで走者のさらなる進塁を防ぐなど“野球IQの高さ”が垣間見えました。セカンドのレギュラーに定着されることを期待しています。

太田：ありがとうございます。

プロ野球選手としての過ごし方ー

——今がちょうどオフシーズンにあたると思うのですが、どのように過ごされていますか？

太田：昨シーズン同様トレーニングをしっかりとしています。どうしてもシーズンが始まるとトレーニングに時間を割くことが難しくなり、痩せてしまうので今のうちに貯めておいて、というところですね。

——身体づくりには食べるものも大きく影響を与えますよね。シーズン中などは食生活を気にしていますか？

太田：あまり意識せず好きなものを食べています。(笑)

——我慢も身体に良くないですね。(笑)



目指すは“日本一”“ベストナイン”!!!

——今シーズンにかける思いや目標など教えてください。

太田：今シーズンは“貫く”という言葉を目頭に置きながらプレーしていきたいと思います。

半年という長期間にわたってシーズンが続いていくので、調子の良い悪いに関わらず、「やるべきことを貫く」という思いで、メンタルを強く持ちながら戦っていきたいです。

もちろん球団のリーグ優勝、日本一を目指してプレーしていきますが、個人としては“ベストナイン”のタイトル獲得に向けて頑張っていきたいです。

——ぜひとも達成していただきたいですね。加えて、ゴールデングラブ賞や打撃の各部門賞なども。

太田：そうした結果もついてきてくれたら嬉しいなと思います。(笑)

——太田選手なら達成できると信じています。

“好きこそ物の上手なれ”ー

——羽曳野市で野球をはじめとしたスポーツを頑張る人たちへメッセージがあれば教えてください。

太田：一番は“楽しむ”ということを大事にしてほしいと思います。小さくてもいいので成功体験を積んでそのスポーツを好きになって楽しんでほしいと思います。

例えば、野球でいうと好打者と呼ばれる選手でも3割の打率で、7割は失敗をするものです。ヒットやホームランを打った時の楽しみ、喜びを大事にしてもらえたらと思います。

——楽しんで身体を動かす、スポーツをする。そしてそれを継続していく。とても大切なことですね。

“最後に”ー

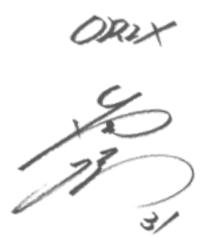
——最後に広報をご覧になっている方々にメッセージをいただけますか。

太田：今シーズンも優勝、日本一を目指して頑張りますので応援お願いします。球場にも足を運んでいただけると嬉しいです。よろしくお願いします。

——本日はお忙しいところありがとうございました。

太田：ありがとうございました。

**今シーズンは令和7年3月28日(金)より開幕!!!
太田選手を応援しましょう!!!**



【問合せ】秘書課